

# 令和元年度 五泉市立村松桜中学校 グランドデザイン

## 【教育目標】



自立 協和 未来へ挑む

【学校課題】

- 「確かな学力の育成」：聴き合う授業、家庭学習時間の増加
- 「自己肯定感の伸長」：認めるボイスシャワー、郷土愛の育成
- 「新学習指導要領への対応」：カリキュラムのマネジメント
- 「働き方改革」：有限の時間での教育、市部活動方針の遵守

【基本姿勢】

JRC 活動理念「気づき、考え、実行する」を教育活動の基盤に位置づけた地域とともに歩む学校を目指します

【重点目標 1】

学ぶ意欲をもち、学力を確実に身につける

【めざす成果】

- ①「学習内容の習得に意欲的に取り組んだ」生徒が **90%以上**
- ②家庭学習時間 **60分以上の生徒が75%以上**

【教育活動・運営活動】

- ①主体的、対話的で深い学びを促す授業改善の推進
- ②家庭学習習慣を確立と基礎・基本の定着

【重点目標 2】

豊かな心を育て、健康な身体をつくる

【めざす成果】

- ①「相手を思いやった言動ができた」 **95%以上**
- ②「他から嫌な言動をされることがない」 **85%以上**
- ③体力テスト全48種目中 **31項目(65%)で県平均以上**
- ④健康チェックシートにおいて **22/30点以上の生徒が90%以上**

【教育活動・運営活動】

- ①感動体験を共有し心に響く道徳等の教育の推進
- ②特別活動と連動したいじめのない安心安全な体制づくり
- ③体育科と連動した適切な部活動運営
- ④健康チェックシートを利用した生活習慣の見直し

【重点目標 3】

ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する

【めざす成果】

- ①「地域理解が深まり地域に愛着が持てた」 **90%以上**
- ②「地域連携活動の学校の考えや取組がよく分かる」保護者 **80%以上**

【教育活動・運営活動】

- ①地域に密着した体験活動の充実
- ②ふるさとへの愛着や誇りを育む地域貢献活動の推進
- ①②地域と一緒に進める食育

【教職員の構え】

A 上質な職員・職員集団

～真の教育は、愛情、情熱、授業力、人権感覚、社会性を備えた職員集団から～

- (1) 授業で勝負する教師（授業のプロ）
- (2) 「チーム村松桜中」で推進する全校体制の取組
- (3) 豊かな人間力に基づく教育実践
- (4) PDCAに基づく確かな指導の継続
- (5) 働き方改革、教育公務員としての服務・勤務の徹底

B 望ましい生徒集団づくり ～秩序ある明るい学校生活でこそ、一人一人の力が伸びる～

C 整った教育環境

～整理整頓された環境が、健やかに行き届いた心を育む～

【「チーム村松」を実現する保護者・地域との連携の強化】

～地域の教育資源の活用・開発が学校教育の充実に不可欠～

～保護者と連携した生活指導が教育効果を高める～

- ① 地域の人、施設、自然、モノ、文化等の教育財産を有効に活用するとともに、地域を舞台にした教育活動を創造して、地域に開かれた教育課程づくりを推進
- ② 情報を相互に共有し、地域の学校となるように努める
- ③ 家庭と連携した取組を推進

